

えいご村キャンプ2015 実施報告書

開催日 2015年8月14日(金)~16日(日)

会場 国立女性教育会館(〒355-0221 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728 <http://www.nwec.jp/>)

参加人数 合計32名(一般参加者、講師、スタッフ含む)

参加者内訳 講師4名、スタッフ8名(高校教員2名、日本語学校教員1名、大学職員3名、講師アシスタント2名)、一般1名、大学生1名、高校生14名(男子7名、女子7名)、中学生2名(男子1名、女子1名)、留学生2名

主催 特定非営利活動法人マナビバ

協力 聖学院大学広報課 第一学院高等学校

クラーク記念国際高等学校さいたまキャンパス 与野学院日本語学校 IMAI研究所

【えいご村 コンセプト】

えいご村の構想は2010年にスタートしました。「ことば」をツールとしてオープンマインドで意見を交わし、何かが偶有性(セレンディピティ)※を伴って生まれる場になって欲しい、という思いからえいご村の構想は生まれました。

私たちの考える「えいご村」は、英語の習得のみを目的としていません。

世界の共通語となっている英語を道具として使うことでコミュニケーションができるようになることを目指しています。

えいご村のプロジェクトはNPO、大学、高校、日本語学校、英会話スクールなど様々な組織に所属する個人の有志によるボランティア活動によって運営されています。

※ 偶有性 = セレンディピティ 偶然の出会いの中から思わぬ発見や展開が生まれること。

作り上げていくのも「みんな」です。ソーシャルなつながりといえるかもしれません。

リーダーシップをとる人は必要かもしれませんが、あくまでもフラットな関係で運営されます。

年齢も性別も国籍も言語も超えて。その上でコミュニケーションのツールとして英語を置くことにしました。

【第一回えいご村キャンプ実施について】

えいご村の中長期の構想においては、廃校になった学校の施設などを再活用して、利用者がいつでも利用できる常設の施設を目指しています。しかし、最初から大きな計画のもとに活動しては一步も進むことができないと考え、今のプロジェクトでできる小さな一步からスタートしようということになり、2015年夏、既存の施設を借りて2泊3日の「えいご村キャンプ」が実施されることになりました。

えいご村キャンプ2015 スケジュール及び実施内容

《1日目》

11時 現地集合～受付

えいご村 村長（聖学院大学 山下）によるえいご村キャンプ開始のあいさつ



オリエンテーション（スケジュールの説明、部屋割りの発表など）

12時 昼食

13時 コミュニケーション講習（今井講師）

国際コミュニケーターになるための4つのポイント

- ①英語耳をつくる 高周波に敏感になる
- ②論理思考を身に付ける Why? What for?を考える
- ③伝える力 言葉のリズム、流れに感情をのせる
- ④コミュニケーションモードをつくる ボディランゲージ、表情



実践講習(ウォーミングアップ)

- ◆英語のジャンケン ◆コルクを口にくわえての発音
- ◆自己紹介ゲーム など



外国人講師によるプレゼンテーション（母国紹介）



Mr.ラディック（ポーランド）

外国人留学生によるプレゼンテーション（母国紹介）

①ニーさん（ベトナム） ②メガさん（インドネシア）

18時 夕食

19時 アクティビティ

◆カップソング ◆ダンス



《2日目》

7時 起床～朝食

9時 研修室集合

会館職員による国立女性教育会館の紹介（目的と歴史）



ウォーミングアップ&アクティビティ

◆コルクを口にくわえての発音 ◆カップソング ◆ダンス など

グループ分け Aチーム、Bチーム

グループ別プログラム

①KitchiHike (英語で民族料理を調理、試食)



②プレゼンテーションの準備

12時 昼食

13時 グループ別プログラム

①KitchiHike ②プレゼンテーションの準備

18時 夕食

19時 カップソング

プレゼンテーション準備

ゲームなど

《3日目》

7時 起床～朝食

9時 研修室集合

ウォーミングアップ

プレゼンテーション準備

12時 昼食

13時 英語によるプレゼンテーション

Bチーム 英語劇 Two silly Pirates



Aチーム 英語ディベート Christmas VS Halloween



感想発表



修了式



15時 解散